

## 平成29年度 社会教育委員会（第4回）会議録

日時／平成29年11月21日(火)午後7時～9時  
会場／生涯学習センター 1階 団体活動室

### ○赤字は会議録

#### 1. 開 会

#### 2. 委員長あいさつ 土屋八重子委員長より

第48回関東甲信越静社会教育大会静岡大会に事務従事された方、参加していただいた方、お疲れ様でした。当日の内容を皆さんで共有したいため、次回の5回目で報告をしてほしいとのこと。

#### 3. 報告事項

##### ①各種委員会の会議報告等

特になし。

##### ②平成29年度東社連研修会について

東社連主催の研修会が別紙のとおり開催される。裾野市は富士・沼駿地区に該当するので、富士・沼駿地区ブロック研修会に参加を希望される場合には、案内通知を作成したので、1/6(土)までに提出していただきたい旨連絡。また、別地区の研修会に参加を希望する場合にも、申込可能なので、連絡いただきたい旨連絡。

##### ③第48回関東甲信越静社会教育研究大会静岡大会（11/16・17）参加報告について

小田委員、大島委員、水口委員、大庭操委員、森岡委員、木原課長が参加。分科会の報告については次回に発表していただく。

第1分科会 小田委員

第2分科会 木原課長

第3分科会 大島委員

第4分科会 森岡委員

第5分科会 土屋委員長

記念講演会 水口委員

シンポジウム 大庭操委員

##### ④各室、係の前期報告等

各室・係・資料館の前半期の行事等を報告。

課長からは、指定管理・予算について報告。指定管理については、第1候補者が「㈱ケイミックスパブリックビジネス」となり、12月議会で可決後、決定となる旨報告。予算については、30年度にむけて予算要求をしているところであるが、年々厳しい状況であり、バスを利用した出張等が難しい状況であるため、今回バス代での請求はせず旅費を請求した旨を報告。また、思うような人数の予算が確保できるかはわからない。

委員長・・・関東甲信越静の大会は一度に多くのことを学ぶチャンスであり、中身の濃い研修が行えるものなので、出来るだけ多くの委員が参加できるようにしてほしい。（小田委員から、講師を呼ぶという研修の仕方もあるという意見もあり）

#### ⑤成人式について

今年度は平成30年1月7日（日）に文化センターで開催される予定。対象者は599名。例年、お手伝いいただいていたが、今年度はお手伝いのお願いはなし。また、委員長には来賓として出席依頼を発送。

#### ⑥その他

12月16日に青少年育成市民会議で講演会を予定。東洋大学の教授により『「思いやり」を科学する』という演題でお話していただくので、ご聴講していただければとチラシを配布。

1月14日に「市民活動の集い」を開催予定。主催が社会教育委員会でもあるため、参加依頼をかける団体への文書を発送後、委員にも発送予定。

### 4. 協議事項

#### ・テーマについて

ニーズだけでなく、デマンドを考える事が必要。 ⇒ ・考えないと打ち上げ花火で終わってしまう

↑  
・こういうものがあつたらいい

↑  
・需要があるかどうか

・多くの人に還元できるものでないと・・・

・こうしてほしい

「裾野独自の地域コミュニティづくり」（仮）のテーマでよいか？

・関東甲信越静岡の分科会で、高校生の活動の話聞いた。地域の人と高校生が地域の課題に取り組んでいく内容のものだったが、地域の方は高校生の課題解決案に協力的に対応していた。そこに社会教育委員がどのように関わっていくかが課題となっていた。

・富士市の高校生の話しだと思うが、この高校では半年間をかけてこの活動を行っている。市の課題を高校生が考えて解決していく。→町内へ一度フィードバックしてもう一度練り直す。→提案。市立高校ということもあってかなり力を入れてこの活動を行っている。

高校生なりのプランを考えること、裾野高校でも行っている。長い期間をかけて出来ないのでは、富士市のようにはいかないけれども。部活で年に1回はボランティアを行うという活動もしている。

・つながりは必要である。各地域のコミュニティがつながっていくという方法もあるのではないか・・・一堂に会せるところがあるといいのではないか。

・関東甲信越静岡の分科会で、小平市の取り組みに「青少年対策委員会」といものがあり、地域活動の実行部隊として活動している。PTAや民生委員、スポーツ推進委員、小中学校の先生も構成員として入っている団体。（市内で言えば育成会のようなものである）地域に核をつくる、地域づくりの核となるところが出来れば・・・（地域づくり協議会？）

・新しいものが出来る時は、「アイデアマン（思いのある人）」を受け入れ、支援していくという環境づくりも必要ではないか・・・

・関東甲信越静岡の分科会で「高校生会（市内の高校生の組織）」の話し聞いた。1つの高校ではなく高校生が集まっている。これを社会教育委員会がサポートしている。（例えば、市の予算をUPしたり、活発化したり）若い人の力を使っていくのが、未来への地域づくりにいいのではないか・・・

テーマが少し漠然としているような気もする。もう少し絞ったテーマにしてもいいのではないか。例えば、遊休地を活用したコミュニティづくりや、地域の集会所が有

効に使われていないので、集会所を有効活用したコミュニティづくりなど。これを社会教育委員会がサポートしていく。

・社会教育の視点は地域づくり（人間的つながり、人と人のつながり）地域を活性化していくには、人と人のつながりではないか。今、必要なもの。どういう手法で持っていくが課題である。

・社会教育のあり方・・・欠落しているのは日常のつながりではないか。イベント事だけがもてはやされ、日常のつながりが希薄になってきてしまっている。土台は日常のつながりだという視点をもつことが大事ではないか。

・集まる＝楽しいということを教えるのがよいのではないか。「東地区おやじの会」の活動はまさに「裾野独自のコミュニティ」ではないか・・・地域団体を励ますということ、行政との橋渡しをする役目をする、各団体の悩みを聞いたり、サポートしたりということをして社会教育委員が行うのがよいのではないか。

・大きな意味でのテーマはそのままでよいのではないか。

大人だけでなく、小さい子から地域に目を向けさせる、裾野を好きになる、絆を大切にすることを目標にしてはどうか。サブテーマに「未来につながるコミュニティづくり」などをつけても良いと思う。

・自分の町を好きになる子ども・大人を作る。→そうすると子どもは地元に戻ってくる→地域が活性化するのではないか？

共通理解をする場所があるのは良いと思う←「市民活動の集い」

コミュニティの基本は地域を好きになること。

・独自性をどこに出すかも考えないと・・・

未来だけのことを考えるだけで良いのか？お年寄りもコミュニティに巻き込んでいくことは出来ないか？子どもとお年寄りの共存も考えていくのもいいのではないか。

・独自がなくても良いのではないか。横のつながりがあまりないので、新しい事を始めるのはなかなか厳しい部分がある。昔の裾野市の良かったことを見つめ直すことも大切である。

等々いろいろな意見がでる。

テーマ「裾野市の未来につながる地域コミュニティづくり」に決定。

## 5. その他

- ・第5回会議の日程について

次回開催日：1月30日（火）19：00～ 生涯学習センター 2階 学習室2

## 6. 閉 会 大庭敏彦副委員長より